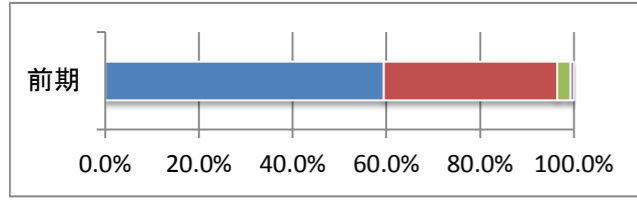


# R元年度 佐賀大学教育学部附属小学校

# 前期学校評価

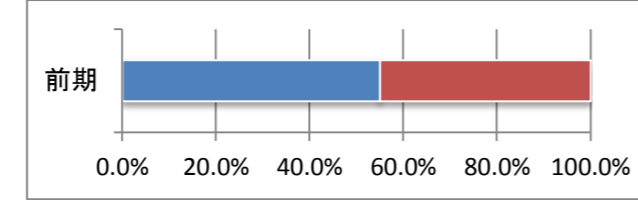
1 学校や学級の目標(がんばること)を知っていますか。

【児童】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	59.4%	37.0%	2.9%	0.7%	100%



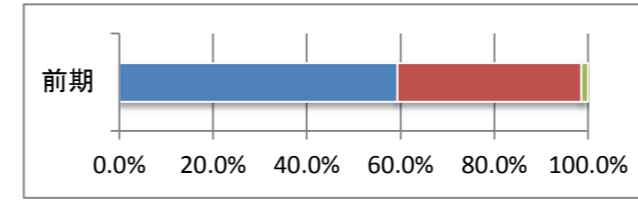
1 学校は、学校(級)便り等で学校の教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

【職員】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100%



1 学校は、学校(級)便り等で、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

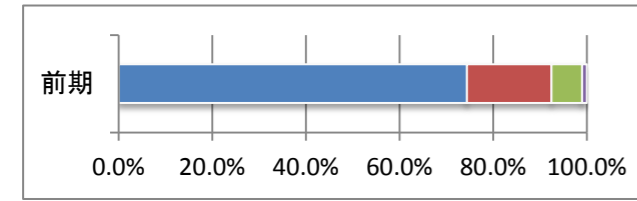
【保護者】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	59.3%	39.3%	1.4%	0.0%	100%



・全体的に昨年度の前期に比べ少しであるが改善している。児童は学級の目標などほとんどの児童が知っているが中には知らない児童もいる。学校の教職員が日々の学校生活の中で児童に伝えたり、学校(級)便り等を通じて、保護者にも教育目標や教育方針を発信したりしているが、保護者のほとんど98%以上が、分かりやすく伝えているとらえている反面、あまりできていないと感じている保護者もいる。職員が、伝えているつもりではなく、積極的に丁寧な情報提供を心がけ、しっかりと伝わっているか確認しながら、必要に応じて繰り返し伝えるなど継続して伝えるようにしていきたい。

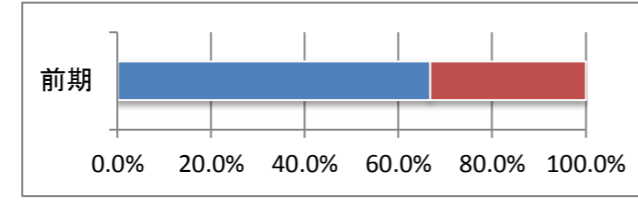
2 学校便りや学級便りなど、学校からのプリント類をお家の人に渡していますか。

【児童】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	74.4%	18.1%	6.5%	1.0%	100%



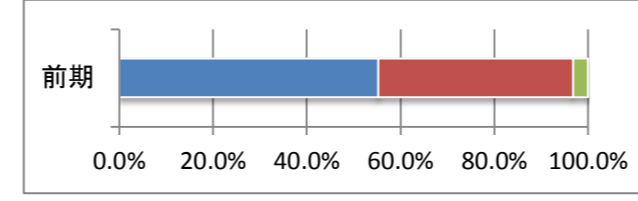
2 学校は、学校便り、学級通信やHP等で学校や学級の様子を伝えるように努めている。

【職員】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100%



2 学校では、学校・学年・学級通信・ホームページ等で学校の取り組みや子どもの様子を伝えている。

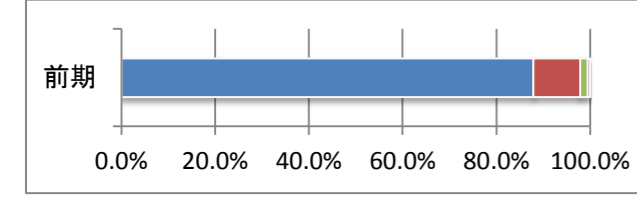
【保護者】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	55.3%	41.5%	3.0%	0.2%	100%



・学校は、通信やホームページで学校や学級での児童の様子を知らせようと努めているが、7%以上の児童は、プリント類を確実に渡せていないと感じており、また昨年度の前期に比べややできていない割合が増えている。保護者の手に確実に渡すように継続した指導が必要であり、きちんと渡す習慣を付けさせるようにしていきたい。  
・昨年度より減ってはいるが、保護者の3%程度が、学校の取り組みや子どもの様子が伝わらないと感じている。発行数だけでなく、内容面も考えた通信や、ホームページ上での必要な情報提供を継続的に行っていくことが必要である。そのためには、まずは校内で情報発信について定期的な確認をする体制を強化していきたい。

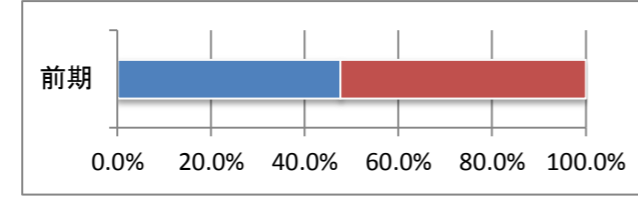
3 学校の行き帰りは、交通事故や知らない人に気をつけたり、寄り道をしたりしないようにしていますか。

【児童】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	87.9%	10.0%	1.6%	0.5%	100%



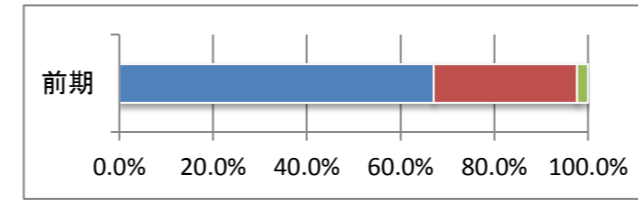
3 学校は、交通安全、危険箇所等に気を配り、火災・地震・水害・不審者への対応について指導を行っている。

【職員】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	100%



3 学校は、交通安全や災害(大雨 台風 地震)、不審者等、子どもの安全を考えて対応している。

【保護者】	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	67.1%	30.6%	2.3%	0.0%	100%

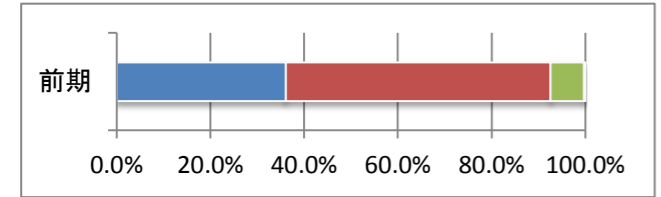


・登下校における交通事故や災害、不審者等の安全面については、98%の児童ができていないと回答している。学校の対応についても、保護者の約98%が安全を考えた対応ができていると回答しているが、できていないと感じている児童や保護者もいることから、今後は、さらに児童には様々な面からの具体的な危機予知能力や危機回避能力を身に付けさせる取り組みが大切である。日常的に短時間でできる具体的・実践的な訓練や安全指導を行うとともに、メールによる緊急情報発信、緊急時の対応マニュアルの整備を継続して進めていく。

4 授業中は、先生の話をしっかり聞き、自分の考えを進んで伝えていますか。

【児童】

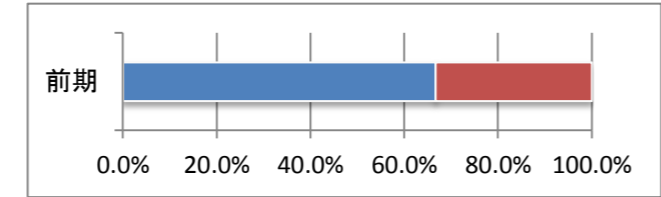
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	36.1%	56.5%	7.1%	0.3%	100%



4 我々は、授業力の向上に努め、子どもたちが学力を身につけるような効果的な授業を行っている。

【職員】

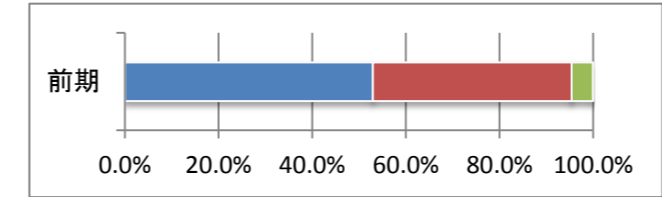
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100%



4 学校は、授業力の向上に努め、子どもに学力を身につける効果的な授業を行っている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	53.0%	42.4%	4.4%	0.2%	100%

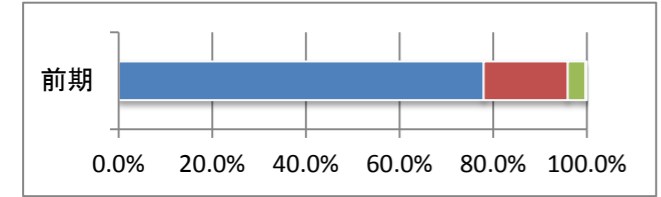


・児童については前年に比べやや改善しているが、まだ「あまりできていない・できていない」が7%を超えており、聞くことや表現することへの取り組みを強化していく必要がある。教職員の意識としては、授業力の向上に努め、学力を身につけるような効果的な授業を行っている」と回答しているが、保護者の約5%は「あまりできていない・できていない」と回答している。前年度に比べ「できていない」が1.3%から0.2%に減少しているものの、個々の児童の実態や課題に応じた学習を保障できるように今後も、継続した研究・実践が必要である。

5 学習の準備や宿題をきちんとしていますか。

【児童】

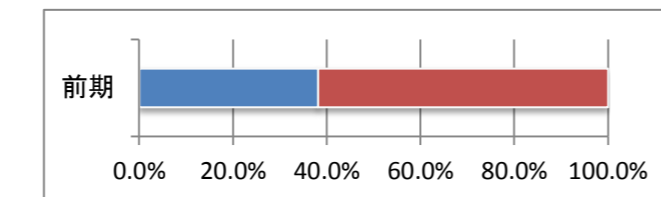
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	78.0%	17.9%	3.8%	0.3%	100%



5 我々は、学習の準備、話し方、聴き方等学習習慣の定着に努めている。

【職員】

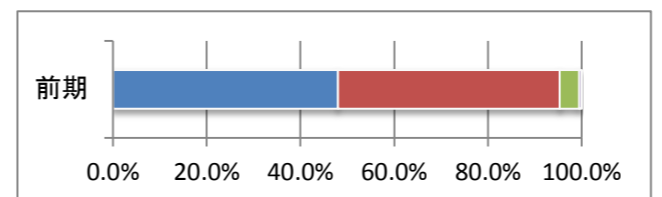
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	38.1%	61.9%	0.0%	0.0%	100%



5 学校は、学習準備や子どもの話し方、聞き方等、子どもの学習習慣の定着に努めている。

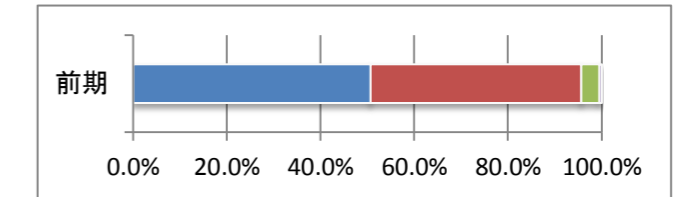
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	48.0%	47.3%	4.2%	0.5%	100%



1 家庭では、翌日の学習準備や宿題について、子どもに声かけを行い、結果についても確認している。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	50.7%	44.9%	3.9%	0.5%	100%

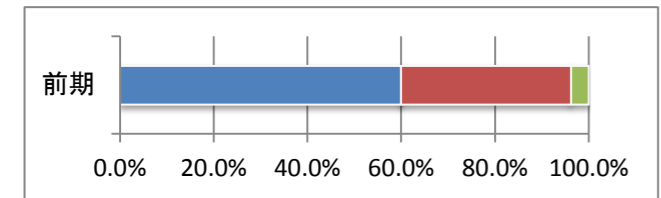


・児童の「よくできている」「大体できている」等の割合は、前年度とあまり変わらないが、「あまりできていない」と自覚している割合がわずかに増えている。職員も保護者も「よくできている」の割合が減っていることから、意識した取り組みがやや弱くなっていると考える。学校でも家庭でも「学習習慣」についてつながりをもった取り組みや児童の意識の改善を促す取り組みが必要だと考える。宿題の確認を保護者に一部していただいている取り組みがあるが、学校は任せっぱなしではなく、保護者との連携を図り児童の学習習慣の継続を図る一端としてうまく活用していきたい。

6 月の生活目標や自分や学校の「あたりまえ」を守っていますか。

【児童】

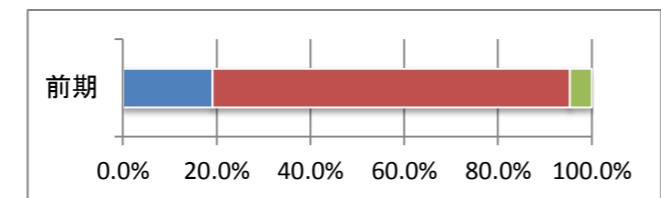
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	60.0%	36.2%	3.8%	0.0%	100%



6 我々は、挨拶・後始末・歩き方など生活習慣の定着に努めている。

【職員】

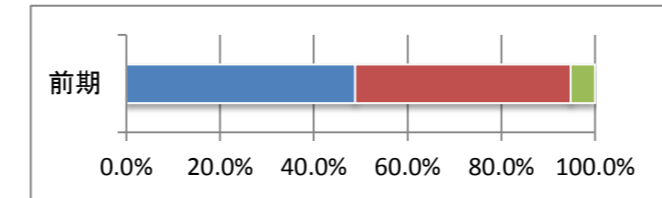
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	19.1%	76.2%	4.7%	0.0%	100%



6 学校は、挨拶や返事、後始末等、生活習慣の定着に努めている。

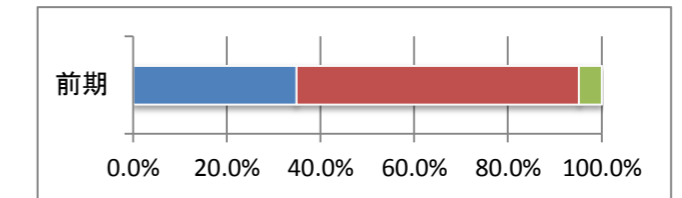
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	48.8%	46.0%	5.1%	0.0%	100%



2 家庭では、挨拶や返事、後始末、自力登校等、生活習慣の定着に努めている。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	34.9%	60.2%	4.9%	0.0%	100%



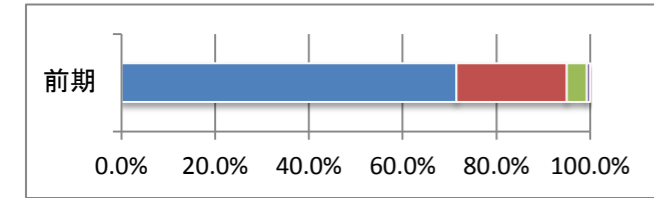
・前年度はスリッパ並べや挨拶、廊下歩行等、「生活習慣を定着させる指導」が一番できていないと教職員はとらえていたが今回は「あまりできていない・できていない」の割合がかなり減少した。昨年度より児童会が中心となって「廊下歩行」や「スリッパ並べ」への意識改革への取り組みが徐々に浸透してきている。しかしながら、まだできていない場面も個別にはある。集会や放送による指導も大事だが、子どもたち一人一人の意識改革と取り組みとして現れるように、進めていく必要がある。

・バスの乗り方や車の送迎については、件数は減ってきている傾向にあり、地域の方から褒めていただくこともある。しかし、まだ苦情があることから、育友会と連携して、家庭への啓発や取り組みや対策を検討していく必要がある。

7 学校や家で誰とでも仲良く勉強したり遊んだりしていますか。

【児童】

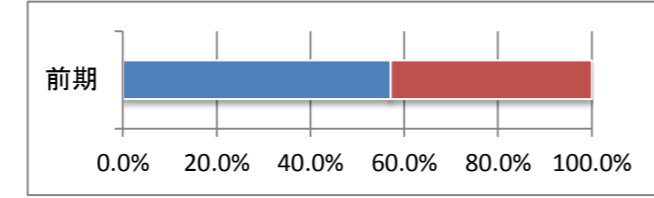
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	71.5%	23.5%	4.3%	0.7%	100%



7 我々は、思いやりを育てる指導を行うとともに、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めている。

【職員】

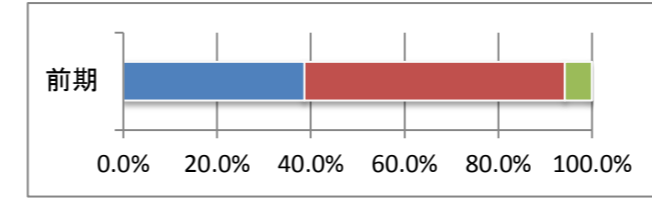
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100%



7 学校は、思いやる心を育てたり、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めたりしている。

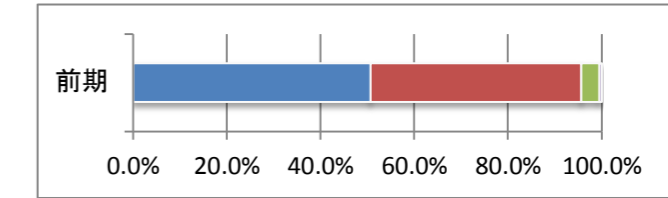
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	38.7%	55.5%	5.6%	0.2%	100%



3 家庭では、子どもに誰とでも仲良く学習したり、生活したりするよう声かけをしている。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	50.7%	44.9%	3.9%	0.5%	100%

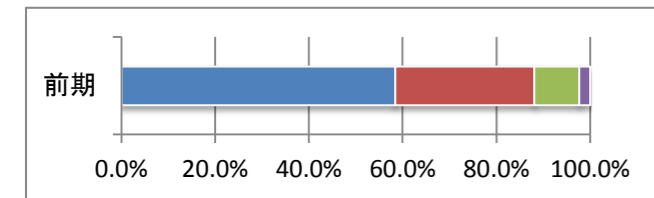


・全体的に前年度と割合的には変わらないが、児童の5%が誰とでも仲良く勉強や遊ぶことについて、「(あまり)できていない」、保護者の約6%が学校の取り組みとしての思いやる心の育成やいじめの防止・早期発見・解決について「(あまり)できていない」の回答となっている。いじめアンケートにも困っている児童や心配されている保護者もあり、しっかりと受け止めた上で防止の取り組み、対応を学校は行う必要がある。  
 ・「いじめ」調査も行うが、日頃から児童の少しの変化を敏感に察知し、早期発見・早期解決に努め、保護者からの情報提供に対しても管理職を含め丁寧に対応していく。そのためにも、担任と児童一人一人の対話(面談)の時間「あのねタイム」を定期的にかつ必要に応じて設け、子どもの悩みや困りに寄り添う取り組みを進めていくようにする。

8 (低)お家で自分の仕事を決めて、忘れずにしていますか。  
(高)児童会、委員会、縦割り活動で自分の役割を自覚し、学校や下級生のために活動できていますか。

【児童】

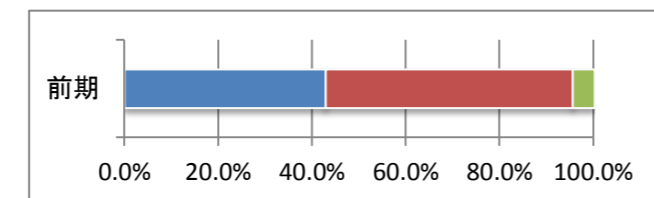
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	58.4%	29.7%	9.6%	2.3%	100%



8 我々は、児童会や委員会、縦割り活動を通して、児童の自治力を育成・向上させている。

【職員】

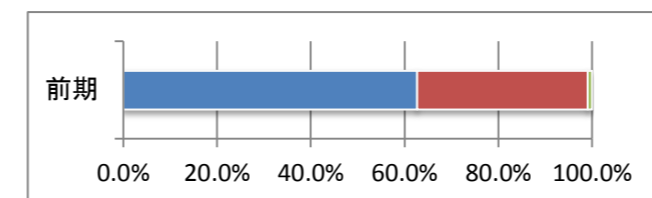
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	42.9%	52.7%	4.7%	0.0%	100%



8 学校は、学級活動や児童会活動、縦割り活動等を通して、子どもの自治力を育てている。

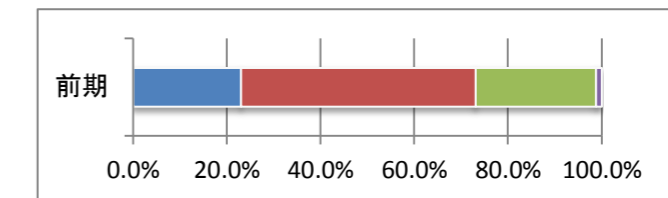
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	62.7%	36.4%	0.9%	0.0%	100%



4 家庭では、子どもの仕事や役割を決めて、責任を持たせてさせている。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	23.1%	50.0%	25.7%	1.2%	100%

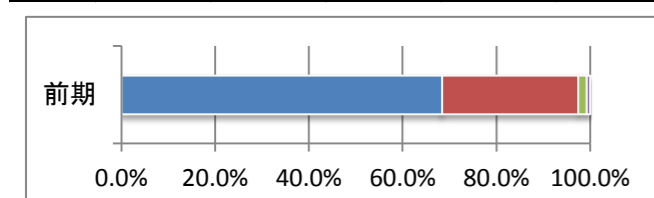


・学校での取り組みについては、「大体できている」「あまりできていない」の割合が多いが、家庭での取り組みとなると「あまりできていない・できていない」の割合方の項目に比べて多い。家庭での取り組みは、前年度に比べ改善してきているので、学校や家庭で児童の頑張りを認めたり生かしたりするようにすることで、児童の肯定感も高まるのではないかと考える。保護者とも連携しながら、「活躍できる場」

9 (低)自分が決めたことは、最後までがんばろうとしていますか。  
(高)縦割り掃除やなかよし活動で低学年の人が困らないよう、気を配っていますか。

【児童】

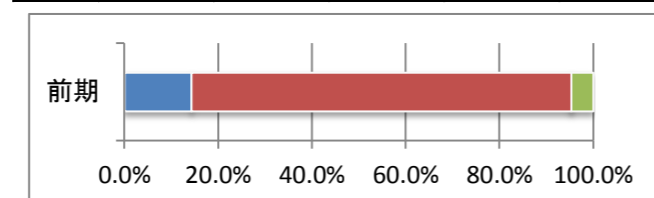
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	68.4%	29.1%	1.8%	0.7%	100%



9 我々は、縦割り掃除、なかよし活動を通して、リーダー性を育成している。

【職員】

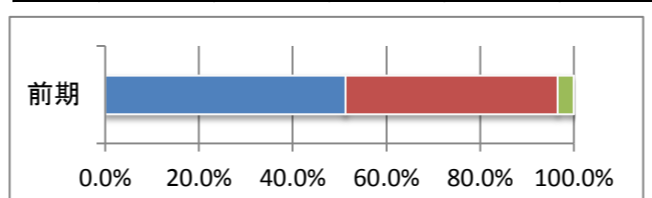
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	14.3%	81.0%	4.7%	0.0%	100%



9 学校は、子どもの自主性を尊重しながら、最後までやり遂げるようなリーダー性を育てている。

【保護者】

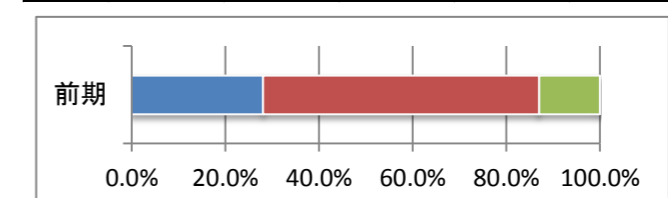
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	51.3%	45.2%	3.3%	0.2%	100%



5 家庭では、子どもの自主性を尊重しながら、最後までやり遂げられるよう、見守っている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	28.1%	58.9%	12.8%	0.2%	100%

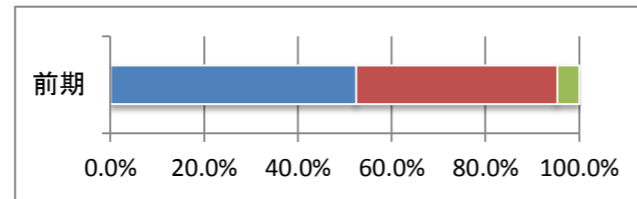


・児童は最後まで頑張ろうとしている割合が多く前年度に比べ割合が増えているが、「あまりできていない(できていない)」児童もいる。教職員・保護者ともに「だいたいできている」の割合が大半を占めているが、教職員でよくできてイルの割合が少なく、前年度に比べ減少しているところが課題である。縦割り活動の場が減った(縦割り掃除ではなく学級掃除へ変更)ことも考えられるが、限られた縦割り活動や、各学年学級での「リーダー」としての資質の育成について検討し取り組みを行っていく必要があると考える。  
 ・昨年度同様、学校でも家庭でも継続して「自分で判断すること」「頑張りを伝えること」の大切さを保護者と共有しながら児童に「最後までやり遂げること」の上さや承認を伝え続けていく必要がある。

10 我々は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【職員】

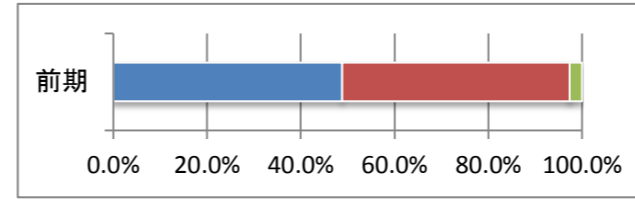
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	52.4%	42.9%	4.7%	0.0%	100%



10 学校は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【保護者】

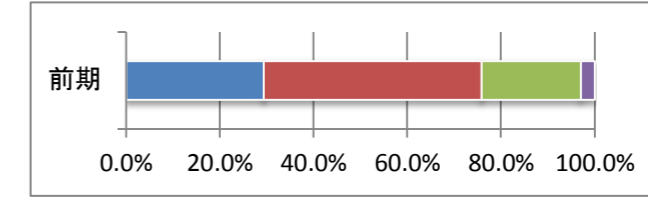
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	48.8%	48.6%	2.6%	0.0%	100%



6 育友会活動に積極的に関わり、巡回当番や委員会・ボランティアに参加している。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	29.4%	46.5%	21.1%	3.0%	100%



・保護者で育友会活動への関わりが十分ではないと回答している割合が、昨年度より減少している。できる分での活動で何とか都合を付けていただいているおかげと考える。また、早めに連絡をすることで、都合を付けやすくなるという声もあり、できるだけ学校から早めの案内を心がける必要がある。  
 ・ボランティアをはじめ学校に対して「とても協力的」である育友会のよき伝統を維持していくためにも、職員も保護者と連携しながら、積極的に育友会活動にかかわっていきたい。